

## 現地視察の感想

### 旧東小学校

#### 【校舎、体育館等について】

- ・校舎、体育館比較的保存状態良いように感じた。
- ・大きな問題は、レッドゾーンとイエローゾーン部分。特にレッドゾーンは解消することが、利活用の前提になる。
- ・プールは素晴らしいと感じます。→活用できるように感じた。
- ・体育館及び校庭について、三朝温泉の付加価値を高める利用を図る。  
⇒校舎及びプールは撤去し、駐車場及びグラウンドの拡充にあてる。
- ・非常に状態が良く、利用価値が高いと思う。
- ・プール及びグラウンドも、将来性を感じる。
- ・ランチルームなどの広い部屋があり、様々な用途に使いやすそう。
- ・音楽室及び、楽器（ピアノなど）もある程度残されているため、町内外からの人々の楽器や歌などの練習会場等として使えそう。
- ・体育館がきれいな状態で残っており、活用できそう。視察中に他の委員からあった「一般的な体育館は車椅子での使用が難しいというところも多いため、逆に車椅子でも使用できる体育館として売り出す」という良い意見があった。車椅子に限らず、一般的な体育館ではできないことができる体育館として、チームの合宿誘致などにぎわいに繋げることができそう。（三朝温泉からも車で6分）
- ・食堂はカフェに。②給食室には果実搾り機（ジュース工場）
- ・1F 図工室、校長室、職員室等は温泉利用者への休憩に簡易宿泊スペース。
- ・2、3F、体育館＝水耕栽培農場、屋上農園  
※要トイレ改修、トイレ増設、他にはリペイント等が必要と思われる。  
カフェ等、ソファ、椅子などリメイクして使用可能。
- ・校舎、体育館ともに50年以上が経過しているが耐震改修工事がしてあり、使用するのには特に問題ないようだ。解体するにも相当の経費がかかると思われるので、改修して利用していくのが良いと思う。
- ・体験型施設（大学生サークルとか）
- ・運動場、各教室には、大谷カバン、ワラジ、手芸、藤かざらランプシェイド等の工房。（費用はクラウドファンディングなどを活用）
- ・地元の人も利用できる施設。
- ・利用できる施設は、多目的ホール、体育館、プール、グラウンド。
- ・1階にある多目的ホールは、何かしら有効利用できる。

- ・立派なプールなので、温泉をひくなどして温泉プールとして活用する。
- ・グラウンドは全面芝生化し、その管理は地域協議会が請け負う。
- ・東小跡地の駐車場（町有地：学校敷地ではない）は広いので、農産物の販売、各種イベントを開催することができる。
- ・校舎、体育館とも築50年を経過していますが、また、雨漏りが無いというのが良い。その中の施設で、特に調理室と図書館（本も含め）は魅力があると感じた。体育館も同様に利用価値が大である。本施設を宿泊施設として地域の魅力を発信するとともに、気軽に集う交流拠点となる場所にすべきと強く思う。地域の宝である子どもと同様に本施設を生まれ変わらせる思いが大切。
- ・給食室、食堂、図工、家庭科室が並んでおり、調理等に関して使用できる。
- ・施設の老朽化はそんなに感じられない。
- ・古さを感じないが、改修には多額の費用を要す。
- ・道路からの傾斜が大きい。

#### 【立地、地域性について】

- ・三朝温泉、三徳山、小鹿溪谷との距離を中途半端とみるのか、3地区を結べる場所とプラス発想するのかで、利活用の仕方は違ってくる。
- ・温泉街に比較的近い。
- ・温泉街から三徳山に至る観光ルート上にある。
- ・近隣に、三徳地区及び小鹿地区協議会の活動施設及び地区体育館がある。
- ・三朝温泉街に近いので、連携の仕方次第で付加価値を上げられる。
- ・三徳山、小鹿溪などの観光資源も近くにあり、集客性は良いと思います。
- ・観光名所である三朝温泉、三徳山から近く、中間点であることもあり町民や町外からの人々の賑わいを創出する用途で活用を検討するのが良いのでは感じた。
- ・例えば運動や文化（音楽、料理、図工など）のいろいろな用途にあったスペースが借りられる施設のような。三朝温泉、三徳山と連携させて、町全体の観光客を増やす。
- ・三朝温泉とリンクさせた施設を考えたい（三朝温泉とのコバンザメ商法的な）
- ・カフェ設置により地域の若者交流、観光客の立ち寄り場として（体験的な要素を入れた施設）
- ・三朝温泉、三徳山、小鹿溪等の観光地等から近く、観光施設、福祉施設等、様々な面での利用ができると思う。
- ・後ろが急傾斜地となっており、避難所としての利用は難しいと思う。
- ・学生の合宿などの場合、三朝温泉を利用するのに近いと思う。
- ・東小学校から、三朝温泉まで車で6分、さらには三徳山・小鹿溪まで車で10分と観光名所まで違和感のない立地にある。また、ほたる鑑賞や星空を眺める体験そして観光梨園では、小鹿地区の保ケが成梨団地及び近隣には東郷の梨園も存在。農村文化（田舎暮らし）も体験

できる要素も十分ある。東小グラウンドや三朝スポーツセンターなども活用できる位置にあり条件は整っていると感じた。

- ・三朝温泉に近い（温泉の活用）
- ・三徳、小鹿地区の中心にある（交流の場・公園）
- ・観光（温泉、三徳山、小鹿溪、小鹿川）と近い
- ・住宅が近い。
- ・地域の感心度が低そう。

## 旧南小学校

### 【校舎、体育等について】

・校舎は、新築部門はともかく、旧校舎は少し使いにくい感じがします。  
・体育館はまだ使えますが、町民体育館も傍にあり、使い分けをするか、体育館以外の使い途を考えるのかと感じました。

- ・県内外から利用希望者を公募する。（賃貸または譲渡）
- ・老朽化を感じる。
- ・再利用する為のリフォーム費用が、高額になると思う。
- ・校舎、体育館ともにきれいな状態で残っている。
- ・グラウンド、体育館、1Fトイレをキャンプサイトに（オートも含めた）
- ・1F 企業研修施設
- ・レンタルオフィス、国支援事業などが行う育成事業スペース
- ・パソコンセンター（研修、在宅ワーク等の事業を行う技術センターを町営で運営する。）

#### ※要トイレ改修

・校舎、体育館ともに55年以上が経過しているが耐震改修工事がしてあり、使用するのには特に問題ないようだ。解体するにも相当の経費がかかると思われるので、改修して利用していくのが良いと思う。

- ・プールが大変良い状態ですが、校舎全体で考えると必要なくなるのかもしれない。
- ・地域の避難場所も災害時には必要だと思う。
- ・利用できる施設は、音楽室、体育館、グラウンド。
- ・立派な音楽室なので、音楽関係者に開放する。（練習場等）
- ・グラウンドは全面芝生化し、その管理は地域協議会が請け負う。
- ・校舎、体育館ともに築56年を経過していますが、耐震工事も施してあり、施設をこれから活用するにしても、安全面は一定の条件をクリアできている。ただ、雨漏りがあるということがマイナス面として存在。その中の施設で、特に音楽室は魅力があると感じました。体育館も同様に利用価値は大である。本施設を農業振興と雇用の創出の「場」として地域の魅力を発信するとともに、誰でも気軽に集う交流拠点となる場所にすべきと強く考える。地域

の宝である子どもと同様に本施設を生まれ変わらせる思いが大切なことと同時に、過疎化に歯止めをかけることも一端にある。

- ・老朽化が今後考えられる。
- ・老朽化に対応する改修費が大きい。

#### 【立地、地域性について】

- ・一見、辺鄙な場所ですが、意外と交通のアクセスは良い場所にあります。
  - ・また役場までも、車で12分とさほど遠くないように感じました。
  - ・周辺の自然環境に恵まれている。
  - ・町内の他地域に比べ、関西・山陽方面からのアクセスが良い。
  - ・中山間地域なので、あまり魅力は無い。
  - ・倉吉と岡山県を結ぶ国道沿いなのは、魅力である。
  - ・地域住民のコミュニティ的施設だと感じましたので、考慮すべき。
  - ・町の中心から車で10分以内進んだ山間に位置し、人が集まりづらい印象。湯原 IC まで繋がる国道179号線沿いにあり、関西や山陽へはアクセスが良い。実際に、まだ具体的な話というわけではないが、南小の利用に興味を示している企業が2社あるとのことであり、企業誘致の用途で活用を検討するのが良いのでは感じた。
  - ・また、単に企業に入ってもらっただけではなく、例えば、見学ができたり、販売所を一部に設けたり、体験ブースがあったりなど地域に密着した事業を行ってもらうことが理想ではなかと感じた。
  - ・立地と広さを考えると大きなことが出来ないかと思われる部分もあると思う。
  - ・自然を利用したイベントとキャンプ（サイト）を合わせた体験施設にもなると思われる。
  - ・町内に〇〇関連、若者、障がい者育成・働く事業が無いので、設置を求める。
  - ・国道179号、482号が近くに走っており、これらの道路網を生かした活用をしていただきたい。
  - ・南小学校校区の住民は、同校に対する強い愛情を持っておられるようなので、地域の皆さんの要望をよく聴き、施設利用に活用していただきたい。
  - ・地域性は良いと思うが、ちょっと便利が悪いかな。
  - ・岡山県北とのつながりから、企業誘致が考えられる。
  - ・南小学校から、米子自動車道（湯原 IC）まで車で28分と物流面では最高の場所。
- また、三朝温泉まで車で17分、三徳山・小鹿溪は30分弱と少し距離はあるものの、気にすれば気になるが、気にしなければさほど気にならない立地。
- ・自動車道 IC から近い。
  - ・竹田地区のまともりは感じられる。
  - ・国道に隣接している。
  - ・地域愛がある。

## その他

### ①イメージとしての利活用方法(2019. 8. 27. 時点)

東小学校

- ・ IT系のシェアカンパニー。雇用促進の住居付
- ・ 児童、生徒、学生たちの合宿所 家族のオートキャンプ場

南小学校

- ・ 民間企業への売却 または委託  
→問い合わせのあった農業系企業は魅力

### ②東小学校、南小学校ともに、長年地域の中心に位置しており、住民の精神的遺産である。

### ③子供たちのいない校舎は、廃墟のイメージなので、地域も荒廃する。

### ④子供の声がある施設にしたいと思いました。

### ⑤東小に関しては、利益よりも PR（宣伝）効果のための施設として位置付け考えたいと思います。

南小に関しては、1企業として運営し、収益が上がることも第1の目的としたいが、育成も早期に必要と考えたい。

### ⑥学校施設を地域コミュニティーセンター（地域の核）として再構築する。

- ・ 少子化、高齢化、過疎化が進行するなかで、郷土を愛する子どもたちの活動の拠点づくりを推進する。（幼い頃の思い出づくりに貢献する。）いったん郷土を離れた子ども（定年退職後か中途の大人）が帰ってくるきっかけとなる。
- ・ できれば地域住民を中心とした継続できる、安定的な利用が望ましい。
- ・ 高齢者が元気なので、地域の高齢者が生きがいを持って活動できる場を提供する。
- ・ 地域外からの入り込み者を増やす。
- ・ 当初は公的な資金の供与（補助金）を利用しても、最終的には経済的に自立できることが望ましい。（自給自足の経営）
- ・ 施設を物づくりの場にするにしても、担い手（人材）をどうするのか、管理運営をどうするのか、課題は尽きない。
- ・ 行政（委員会を含む）と地域住民と双方向の取組みが必要である。
- ・ 話し合いには若者と女性の意見が貴重なので、取り込んでいく必要がある。

### ⑦地域での活用意欲は低い。

### ⑧外資での活用か。